

ホームページ掲載内容

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017年2月28日）第5章第12の1（2）ウの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に関する臨床病理遺伝学的特徴と予後因子に関する後方視的臨床研究

研究責任者：順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科 関口 康宣

研究分担者：順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科 野口 雅章

研究全体の対象者数：約 200 名

順天堂大学医学部附属浦安病院では約 15-20 名

研究の意義と目的：

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫は悪性リンパ腫の中で最も多い病型です。この疾患は不均一な集団であり、予後の良いタイプから不良なタイプまで様々です。最近では MYC 蛋白の高発現や MYC 遺伝子異常を伴う高悪性度びまん性大細胞型 B 細胞に関する病理学的、遺伝学的研究が世界中で行われています。そこで本研究は MYC 蛋白高発現か MYC 遺伝子異常を伴う高悪性度びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんの臨床的予後因子を調べ、臨床的にどのような特徴があるのか、どういうタイプが治りにくいのか、それによりどういったことが日常診療に活かせるのかを検討するためにこの研究を計画しました。

観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは、西暦 2009 年 12 月から西暦 2018 年 3 月の間に浦安病院血液内科でびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断された方です。利用させていただくカルテ情報は下記です。

- ① 診断時の臨床所見・検査所見：診断日、年齢、性別、診断名、Performance status (ECOG)、病期、節外病変数、リンパ節生検の結果、免疫染色及び染色体検査、遺伝子解析 (MYC、BCL2、BCL6 など)、血清 LDH 値、可溶性 IL-2R 値、診断時病変部位
- ② 治療経過：治療内容、治療開始日・終了日、治療効果および効果判定日、再発・増悪の有無、再発・増悪日、中枢神経再発の有無、中枢神経再発日、形質転換の有無
- ③ 転帰：生死、最終生存確認日（死亡日）、最終生存確認日での寛解状態、死亡した場合は死因

研究期間：承認日 ～ 西暦 2018 年 3 月 31 日

被験者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017 年 2 月 28 日）に従って本研究を実施します。

個人情報の保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、自己資金によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。実施にあたっては、事前に本学の利益相反委員会にて審査を受け、承認を得ているほか、学会発表や論文公表に際しては、資金に関して公表し、透明化を図ることとしています。

お問い合わせ先：

順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科

電話：047-353-3111

研究担当者：関口 康宣（せきぐち やすのぶ）